

9月



畜産総合センターようゐん通信

平成29年9月

☆新しい大ヨークシャー種「アイリスW3」の譲渡を開始します！！

農業総合試験場での完成から約1年、大変長らくお待たせしました。いよいよアイリスW3を生産者のみなさまに譲渡する準備が整いましたのでお知らせします。

つきましては、10月2日（月）から順次譲渡を行ってまいります。

新しい系統豚の譲渡開始に際し、畜産課長から生産者の皆様へのメッセージを掲載します。

愛知県では、昭和45年から全国に先駆けて豚の系統造成に取り組み、これまで3品種7系統を造成してきました。

現在、3品種の系統豚を全て供給できるのは愛知県のみです。

事業開始から47年間、養豚を取り巻く情勢には様々な変化がありました。畜産環境に係る法律の施行、飼料価格の高騰、家畜疾病の流行など、厳しい時代も経験してまいりましたが、今日まで系統豚の利用が進みましたが、ひとえに生産者の皆様の御支援によるものと深く感謝申し上げます。

近年、消費者における嗜好の多様化や輸入品との差別化への対応など、高品質な豚肉生産への県民の期待は一層高まっており、同時に、生産段階における斉一性も、流通業者からの信頼を獲得するうえで重要となっております。

このような状況の中、時代のニーズに合わせた能力と生産現場で安定して供用できることを主眼に置いて生産する本県の系統豚は、今後も大きな役割を担っていくものと自負しております。

今後も、生産者の皆様と共に歩み、期待に応えられる種豚生産に取り組んで参りますので、御理解と御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

愛知県農林水産部畜産課長 岡地啓之



なお、10月6日付け日本農業新聞「技術・営農トピックス」にアイリスW3譲渡開始に係る記事を掲載予定です。



(写真) アイリスW3

上：農業総合試験場での完成時

右：畜産総合センターの育成豚（約5ヶ月齢）

○毎年恒例、畜産フェスタを開催します

県民の皆様に愛知の畜産への理解を深めていただくため、今年度も畜産フェスタを開催します。

平成26年及び27年は刈谷ハイウェイオアシス、昨年は岡崎市東部地域交流センターむらさきかん（道の駅 藤川宿隣）を会場として開催しましたが、今年度は畜産総合センターに戻ってきます！

日時：平成29年10月14日（土）午前10時から午後3時まで

場所：畜産総合センター

内容：畜産物（豚肉（愛とん）、牛肉（みかわ牛）、鶏肉（名古屋コーチン））の試食、畜産物（豚肉、牛肉、鶏卵、乳製品、蜂蜜等）の販売、搾乳模擬体験、ひよことのふれあい、乗馬体験、堆肥配布 など

会場は衛生管理区域を厳密に区分することで、センターの飼養家畜への家畜伝染病侵入防止に最大限努めてまいります。



（写真）昨年度の畜産フェスタの様子

（連絡先）

◇畜産総合センター ： 0564-21-0201